

こまつ防災アプリをインストールしよう

あらゆる防災情報が入ったアプリです。避難情報や避難所の開設などがプッシュ通知で届きます。



災害の危険度や取るべき行動が一目で分かる！



現在地から避難所へのルートも調べられます



KABUKKY × POMPOMPURIN
© '24 SANRIO APPR.NO.L650568

非常持ち出し袋・備蓄品を準備しよう

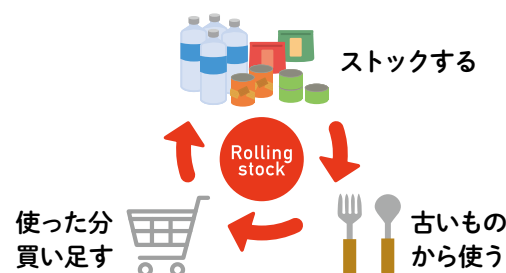
災害時は電話や電気・ガスなどのライフラインや食料の流通が途絶える可能性があります。最低3日分の物資と持ち出し袋を準備しておくとう安心です。また、家庭でローリングストック※を実践してみましょう。

※ローリングストックとは・・・普段から少し多めに非常食や飲料水を買置き、使った分を買足していく方法です。

非常持ち出し袋に入れておく基本的なもの

- 貴重品類(印鑑、預金通帳、現金など)
- 食料品・飲料水(アルファ米、缶詰、携帯用飲料水など最低3日分)
- 衣類(セーター、ジャンパー類は夏でも必要。下着1組など)
- 応急医薬品(薬、救急用品など)
- 懐中電灯、携帯ラジオ(予備電池も忘れずに)
- その他(新聞紙、マッチやライターなどの発火用具、ろうそく、タオル、ビニールシート、コップ、缶切り、ポリ袋など)

※赤ちゃんや高齢者、持病のある人がいる家庭では追加で必要なものがあれば準備しておきましょう。



おすすめ備蓄品

新聞紙

スリッパやお皿として使えるだけでなく、防寒やプライバシー保護にも使えます。普段から何部が残しておきましょう。

備蓄品

- 食料や水(最低3日分、できれば1週間分) × 人数分
- 生活用品(携帯トイレ、ティッシュ、トイレトペーパー、ラップ、ごみ袋など)

災害はいつ発生するか予測がつかないものです。
この機会に災害が起こる前の対策を家族や友人と話し合ってみましょう。

特集 災害に備えて “自助力”をつけよう

近年、能登半島地震や令和4年8月豪雨など大きな自然災害が発生しています。もしもの時に命を守る行動ができるよう、自助力を身につけましょう。

問い合わせ

危機管理課 24・8150

“自助力”とは

災害が発生した際、自分自身や家族の身の安全を守る力です。公助(消防・警察・自治体・自衛隊などの公的機関による救助・援助)、共助(近隣同士で助け合うこと)の手が届くまでに、自助の力で自分たちの身を守る、または被害を予防する必要があります。

我が家の避難計画を考えよう

災害が起きた時に速やかに行動できるよう事前に家族で話し合っておきましょう。

確認1 我が家の危険度を確認する

各種ハザードマップを見て
自宅の危険度を確認しましょう。



- 洪水ハザードマップ
- 津波ハザードマップ
- 地震ハザードマップ
- 土砂災害マップ

確認2 避難するタイミングを決めておく

タイミングの例

- 市からの避難情報が出たとき
(警戒レベル3：高齢者等避難、警戒レベル4：避難指示)
- テレビ・ラジオなどからの気象情報(気象警報)
- 近所・家族からの声掛け

警戒レベル	避難情報など
5	緊急安全確保
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水注意報
1	早期注意情報

災害危険度

市から発令
気象庁から発令

確認3 避難場所を確認する

自宅に近い避難所や、知人・親せきの家など、避難する場所を事前に決めておき、その場所までの安全な避難経路※も確認しておきましょう。

また、避難の際に支援してくれる人がいる場合は、名前と連絡先を控えておきましょう。
※自宅が安全な場合は自宅でも避難できます。



◀避難所の一覧はこちら



指定避難所



自主避難先



在宅避難